

平成24年度事業報告

平成24年4月1日から平成25年3月31日までの事業概要は次のとおりである。

〔1〕会 員

平成24年度末の会員数は次のとおりである。

| 区 分 | 会 員 数 | 備 考 |
|-----------------|--------|-----------------|
| 個 人 正 会 員 | 2,100名 | うち海外在住外国人正会員75名 |
| 団 体 正 会 員 (公 益) | 81口 | |
| 団 体 正 会 員 (賛 助) | 64口 | |
| 学 生 会 員 | 472名 | うち外国1名 |
| 名 誉 会 員 | 19名 | |
| 合 計 | 2,736名 | |

〔2〕運営に関する会議

1. 第32回通常総会の開催

第32回通常総会を次のとおり開催した。

- (1) 日 時 平成24年6月21日(木) 13時00分～13時34分
- (2) 場 所 タワーホール船堀(東京都江戸川区)
- (3) 出席者 1,464名
- (4) 議 題

- 1) 平成23年度決算(案)について
- 2) 定款の変更について
- 3) 役員等の給与・報酬等に関する規則の改定について

報告 平成23年度事業報告

2. 理事会の開催

理事会を次のとおり開催した。

(1) 第93回理事会

- 1) 日 時 平成24年4月3日(火) 17時00分～18時20分
- 2) 場 所 学会事務局会議室(東京都江東区)
- 3) 出席者 中島会長他理事18名、監事1名、幹事6名、他に事務局
- 4) 内 容
 7. 新法人への移行に伴う理事・監事・業務執行理事・運営幹事の就任継続について
 4. 職務代行者の順位について

- ウ. 平成 24 年度活動計画(案)について
- エ. 平成 24 年度予算(案)について
- オ. 定款変更について
- カ. 役員等の給与・報酬等に関する規則の改定について
- キ. 基本財産のうち「外国人研究者招聘基金」の残額取り崩しについて
- ク. 各担当理事報告
- ケ. その他

(2) 第 94 回理事会

- 1) 日 時 平成 24 年 5 月 29 日 (木) 10 時 00 分～11 時 30 分
- 2) 場 所 学会事務局会議室(東京都江東区)
- 3) 出席者 中島会長他理事 21 名、監事 2 名、幹事 7 名、他に事務局
- 4) 内 容
 - ア. 各賞表彰(学会賞、学術賞、論文賞、論文奨励賞、技術賞)について
 - イ. 表彰基金運用規程の改定および表彰関係内規の改定について
 - ウ. 平成 23 年度決算(案)について
 - エ. 平成 23 年度事業報告について
 - オ. 第 32 回総会資料について
 - カ. 新入会員の理事会承認について
 - キ. 研究委員会の継続申請について
 - ク. 定款変更に伴う規則・規程の変更について

(3) 第 95 回理事会

- 1) 日 時 平成 24 年 8 月 17 日 (木) 15 時 00 分～16 時 40 分
- 2) 場 所 学会事務局会議室(東京都江東区)
- 3) 出席者 中島会長他理事 19 名、監事 2 名、幹事 6 名、他に事務局
- 4) 内 容
 - ア. 理事及び監事選考規則の改正について
 - イ. 京都会議記念基金・派遣助成制度助成対象者の選考について
 - ウ. 新入会員の承認について
 - エ. 新規研究委員会の設置について
 - オ. シンポジウムの会計(余剰金還元)について
 - カ. 各委員会報告
 - キ. 各支部報告
 - ク. その他

・理事会の後に理事懇談会を開催した。

(4) 第 96 回理事会

- 1) 日 時 平成 25 年 3 月 12 日 (火) 12 時 20 分～13 時 20 分
- 2) 場 所 大阪工業大学大宮キャンパス(大阪市旭区)

3) 出席者 中島会長他理事 22 名、監事 2 名、幹事 13 名、他に事務局

4) 内 容

ア. 平成 25 年度活動計画（案）について

イ. 平成 25 年度予算（案）について

ウ. 資金調達及び設備投資の見込みについて

エ. 理事及び監事選考規則の改定について

オ. 理事候補者の承認について

カ. 機関誌著作権規程の改定について

キ. 新入会員の承認について

ク. 研究委員会の新設について

ケ. 平成 24 年度水環境文化賞選考結果の報告

コ. 年会優秀発表賞（クリタ賞）および年会学生ポスター発表賞（ライオン賞）の選考経緯に関する報告

サ. 各運営理事報告

シ. その他

〔3〕 運営方法および財政改善に関する検討

1. 健全な運営のための業務改革と財政改善を積極的に推進した。

〔4〕 年会

第 47 回日本水環境学会年会を次のとおり開催した。

1. 日 時 平成 25 年 3 月 11 日(月)～13 日(水)
2. 場 所 大阪工業大学（大阪市旭区）
3. 参加者 1,369 名
4. 発表件数 681 件（口頭 494 件＋ポスター 187 件）

〔5〕 シンポジウム

第 15 回日本水環境学会シンポジウムを次のとおり開催した。

1. 日 時 平成 24 年 9 月 10 日(月)～12 日(水)、12 日は現地見学会
2. 場 所 佐賀大学（佐賀県佐賀市）
3. 参加者 389 名
4. 14 の研究委員会がそれぞれセッションを企画し開催した。

〔6〕 国際会議

1. **Water and Environment Technology Conference 2012 (WET2012)**を開催した。

開催日： 平成 24 年 6 月 29 日(金)～30 日(土)

場 所： 東京大学生産技術研究所

2. 中国環境科学学会、清華大学と共催で第 10 回日中水環境シンポジウムを開催した。

開催日： 平成 24 年 4 月 14 日(土)～15 日(日)

場 所： 清華大学深セン研究生院（中国 深セン市）

3. 大韓環境工学会との共催で第 21 回日韓水環境シンポジウム—アジアを見据えた水環境保全の展開—を開催した。

開催日：平成 24 年 6 月 27 日(水)～28 日(木)

場 所：東京大学生産技術研究所

〔7〕機関誌

1. 機関誌「水環境学会誌」を毎月発行し、会員に配布した。
2. 機関誌“Journal of Water and Environment Technology”を発行し、科学技術振興機構（JST）が運営する J-STAGE 上で公開した。
3. 機関誌「水環境学会誌」原著論文およびバックナンバーを科学技術振興機構（JST）が運営する J-STAGE 上で公開した。
4. 「水環境学会誌」およびその前身の「水質汚濁研究」の Vol.1～Vol.30 の PDF 版を収めた DVD-ROM を販売した。

〔8〕IWA 活動への協力

1. IWA およびその国内委員会の活動に参加し、IWA 活動を支援・推進した。
2. IWA 発行機関誌などの編集に協力した。

〔9〕出版企画

“Water Pollution Control Policy and Management: The Japanese Experience”改訂版の編集を行った。

〔10〕支部活動

7 支部がそれぞれ総会、講演会、セミナー等を実施した。

〔11〕研究委員会活動

18 研究委員会（嫌気性微生物処理、MS 技術、生物膜法、身近な生活環境、ポピュレーションダイナミクス、バイオアッセイによる安全性評価、土壌地下水汚染、水環境と洗剤、水環境保全の国際協力、水中の健康関連微生物、湿地・沿岸域、ノンポイント汚染、水環境教育(WEE21)、膜を利用した水処理技術、流域水環境ソリューション、紫外線を利用した水処理技術、産業排水の処理・回収技術、水環境の総合指標）が、それぞれシンポジウムでセッションを企画するなどの活動を行った。また、システム解析研究委員会が新設され、活動を開始した。

〔12〕表 彰

平成 24 年度の学会賞、学術賞、論文賞、論文奨励賞（廣瀬賞）、技術賞および水環境文化賞の受賞者を選考の結果、次の各氏・団体に決定した（敬称略・50 音順）。また、年会優秀発表賞、年会学生ポスター発表賞、博士研究奨励賞、水環境国際招聘賞、水環境国際活動賞および年間優秀論文賞を選考し、次の各氏に授賞した。

(1) 学会賞

受賞者 藤江 幸一 (横浜国立大学大学院環境情報研究院・教授)

(2) 学術賞

受賞者 山本 和夫 (東京大学環境安全研究センター・教授)

対象研究 浸漬型膜分離活性汚泥法 (MBR) 開発に関する研究

(3) 論文賞

受賞者 常田 聡 (早稲田大学先進理工学部生命医科学科・教授)

主要対象論文 Formation of nitrifying granules using a continuous stirred-tank reactor

掲載誌 *Journal of Water and Environment Technology*, Vol.10, No.1, 47-55 (2012)

(4) 論文奨励賞 (廣瀬賞)

受賞者 小坂 浩司 (国立保健医療科学院生活環境研究部・主任研究官)

対象論文 Removal of radioactive iodine and cesium in water purification processes after an explosion at a nuclear power plant due to the Great East Japan Earthquake

掲載誌 *Water Research*, Vol. 46, Issue 14, 4397-4404 (2012)

(5) 技術賞

受賞者

坂本 勝弘 (松江土建株式会社)

高橋 智 (松江土建株式会社)

増木 新吾 (松江土建株式会社)

戸島 邦哲 (松江土建株式会社)

鈴木 穰 (独立行政法人土木研究所)

佐合 純造 (一般財団法人日本建設情報総合センター)

津森 ジュン (国土交通省)

対象技術 深層酸素供給装置を用いたダム・湖沼深層水への酸素供給技術

(6) 水環境文化賞

1) 水環境文化賞

受賞者 NPO 法人ふくおか湿地保全研究会 (福岡県福岡市)

対象活動 博多湾東部沿岸域の干潟や湿地、多々良川および井尻上池の生物調査や清掃、保全および教育活動

2) 水環境文化賞「児童・生徒の部（みじん子賞）」

受賞者 兵庫県立豊岡高等学校（兵庫県豊岡市）

対象活動 コウノトリの保護を軸とした水環境保全にかかわる調査研究活動

(7) 年会優秀発表賞

あびる かずや
阿比留 和也（鹿児島大学大学院）

いしかわ ともや
石川 智也（北海道大学大学院）

いとう よりこ
伊藤 依子（京都大学大学院）

おおさか ゆきひろ
大坂 幸弘（東京大学大学院）

さいとう みほ
齋藤 美穂（横浜国立大学大学院）

さとう こういち
佐藤 浩一（立命館大学大学院）

さの いつみ
佐野 慈（東北大学大学院）

さの たかひろ
佐野 貴洋（鳥取大学大学院）

しぶさわ まい
渋沢 麻衣（横浜国立大学大学院）

にしやま まさてる
西山 正晃（宮崎大学大学院）

ばく きり
朴 起里（大阪大学大学院）

はたもと みちこ
畑本 通子（高知大学大学院）

ほうじょうけいすけ
北條 圭佑（東京農工大学大学院）

やまぐち しんたろう
山口 慎太郎（筑波大学大学院）

り しんどう
李 沁潼（筑波大学大学院）

（クリタ水・環境科学振興財団からの出捐顕彰事業として、上記の15名に「年会優秀発表賞」を授与した。）

(8) 年会学生ポスター発表賞（◎：最優秀賞）

しばた ともよ
◎柴田 智世（東京大学）

むらかみ
村上 いくみ（秋田工業高等専門学校）

さかもと あすか
坂本 明日香（北海道大学）

きた りょう
喜多 諒（東京大学）

かなや きずく
金谷 築（東京大学）

ふるや たかし
古屋 崇志（山梨大学）

くの まりこ
久野 真莉子（東北大学）

（ライオン株式会社からの出捐顕彰事業として、上記の7名に「年会学生ポスター発表賞」を授与し、うち1名に最優秀賞を授与した。）

(9) 博士研究奨励賞 (◎: 最優秀賞)

さんこだ けんし
◎三小田 憲史 (熊本県立大学大学院環境共生学研究科)

はた あきひこ
端 昭彦 (東京大学大学院工学系研究科)

(オルガノ株式会社からの出捐顕彰事業として、第 15 回シンポジウムで発表した上記 2 名に「博士研究奨励賞」を授与し、うち 1 名に最優秀賞を授与した。)

(10) 水環境国際招聘賞 (JSWE-IDEA Water Environment International Exchange Award)

24 年度受賞者

河 成龍 (Ha Sung-Ryong) (韓国) (Chungbuk National University)
吳 乾元 (WU Qian-Yuan) (中国) (Tsinghua University)

(いであ株式会社からの出捐顕彰事業として、第 47 回年会で研究発表を行った 2 名の海外在住外国人会員に対し、「水環境国際招聘賞」を授与し来日費用等を助成した。)

(11) 水環境国際活動賞 (JSWE-IDEA Water Environment International Activity Award)

てらだ あきひこ
寺田 昭彦 (東京農工大学大学院・准教授)

(いであ株式会社からの出捐顕彰事業として、「3rd International Conference on Nitrification (ICoN3) (第 3 回国際硝化会議)」に対し、「水環境国際活動賞」を授与しその費用の一部を助成することを決定した。)

(12) 年間優秀論文賞

受賞者 こばやし たくろう 小林 拓朗*, 吳 亜鵬 (WU Ya-Peng) **, 徐 開欽 (XU Kaiqin) *,***,

いなもり ゆうへい 李 玉友 (LI Yu-You) **, 稲 森 悠平****

*国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター

**東北大学大学院環境科学研究科

***中国上海交通大学環境科学与工程学院

****福島大学共生システム理工学類

対象論文 循環式水素・メタン二段発酵プロセスにおける消化液返送方法が水素発酵に及ぼす影響

掲載誌 水環境学会誌, Vol.34, No.11,161-171 (2011)

(メタウォーター株式会社からの出捐顕彰事業として、上記の論文の著者に「年間優秀論文賞」を授与し、第 15 回シンポジウムで発表するための旅費等を助成した。)

(13) WET 優秀賞

WET Excellent Paper Award (WET 優秀論文賞)

Assessment of the effect of cyclic irrigation on reducing nitrogen effluent loading from a paddy-field district

Takehide HAMA*, Katsuyuki OSUGA**, Sho SUGIYAMA* ,Daichi IWASAKI* ,Takeru AOKI *** (*Kyoto University, **Shiga Prefectural Government, ***Tokyo Gas Co., Ltd)

Distribution and diffusion behaviors of perfluorinated compounds with low pressure reverse osmosis membranes

Xiaming CHEN, Hiroaki OZAKI, Rabindra Raj GIRI, Shogo TANIGUCHI, Ryohei TAKANAMI (Osaka Sangyo University)

Isolation and Characterization of Tetrahydrofuran-Degrading Bacteria for 1,4-Dioxane-Containing Wastewater Treatment by Co-metabolic Degradation

Kazunari SEI*, Masao OYAMA**, Takashi KAKINOKI**, Daisuke INOUE*, Michihiko IKE** (* Kitasato University, ** Osaka University)

Effect of endogenous carbon source on biological denitrification rate

Yuichiro MIKAMI*, Tadashi NITTAMI*, Futoshi KURISU** (* Yokohama National University, ** The University of Tokyo)

Soil faunal diversity and possible role on wastewater treatment in the beds of a full-scale vertical flow constructed wetland

Kazunori NAKAMURA*, Kazunori NAKANO**, Tokuo YANO*, Yoshihisa SUYAMA*, Osamu NISHIMURA* (* Tohoku University, ** Nihon University)

Preliminary Assessment of Thermal treatments of Chlorpyrifos and 3,5,6-Trichloro-2-pyridonol (a potential precursor of the pyridine analogue of 2,3,7,8-TCDD) using the early developmental stage embryo

Katsumasa HANNO*, Shoji ODA**, Takeshi NAKANO***, Hiroshi MITANI** (*Chiba Prefectural Environmental Reserch Center, **The University of Tokyo, ***Osaka University)

WET Excellent Presentation Award (WET 優秀発表賞)

Atunori OTOSHI (Hiroshima Univ.)

Sho SUGIYAMA (Kyoto Univ.)

Tushara CHAMINDA (Univ. of Ruhuna, Sri Lanka)"

Yoshimasa AMANO (Chiba Univ.)

Kazuhiro HIKICHI (Yamagata Univ.)

Naoyuki KISHIMOTO (Ryukoku Univ.)

Moon TAE HUN (Woongjin Coway Co. Ltd., Korea)
Hang Thi Minh TRAN (National Univ. of Singapore, Singapore)
Mana NOGUCHI (The Univ. of Tokyo)
Risky Ayu KRISTANTI (Univ. of Yamanashi)
Sadaaki SHIMURA (Univ. of Yamanashi)
Hirokazu TAKANASHI (Kagoshima Univ.)
Atsushi SASAKI (Yamagata Univ.)
Bao PHAM NGOC (Toyo Univ.)
Lashitha RATHNAYAKE (Hokkaido Univ.)
Marco Antonio LEON-ROMERO (Tohoku Univ.)
Yang YU (The Univ. of Tokyo)
Yan SHAO (Tokyo Institute of Technology)
Chandra Wahyu PURNOMO (Tokyo Institute of Technology)
Miho SAITO (Yokohama National University)

(メタウォーター株式会社からの出捐顕彰事業として、WET2012の参加者のうち、上記6件の論文の著者に「WET Excellent Paper Award」を、20名の発表者に「WET Excellent Presentation Award」を授与した。)

[13] 国際活動

国際会議の開催、国際活動への助成、外国人研究者の招聘、IWA活動への協力などを行った。また国際会議参加援助として、京都会議記念基金を基に、高橋利幸^{たかはしとしゆき}氏(都城工業高等専門学校)に対して平成24年9月16日～21日に釜山で開催されたIWA世界水会議2012(釜山)参加のための渡航費用等を助成した。

[14] 事業活動

1. 受託研究調査の実施

環境省からの受託研究調査を次のとおり実施した。

平成24年度環境研究総合推進費(流域に沈着した放射性物質の移動と消長に関する文献調査及び知見整理)による研究委託業務

2. セミナー等の開催

セミナー等を次のとおり開催した。

(1) 文部科学省科学研究費補助金『研究成果公開促進費「研究成果公开发表(B)」』の助成による

第21回市民セミナー

- 1) テーマ 大震災後の水環境 - 何が起こったのか、どう備えるか
- 2) 開催日 平成24年8月3日(金)
- 3) 場所 東京会場：地球環境カレッジホール(東京都世田谷区)
大阪会場：いであ(株)大阪支社 ホール(大阪市住之江区)
- 4) 参加者 東京会場123名、大阪会場33名

(2) 第58回セミナー

- 1) テーマ 東日本大震災後の水環境における放射性物質の挙動
- 2) 開催日 平成25年1月24日(木)
- 3) 場 所 自動車会館大ホール(東京都千代田区)
- 4) 参加者 137名

3. 見学会の実施

第26回見学会を次のとおり実施した。

- 1) 開催日 平成24年10月25日(木)
- 2) 場 所 いであ(株)環境創造研究所(静岡県焼津市)
- 3) 参加者 15名

4. 水環境懇話会の開催

水環境懇話会を次のとおり開催した。

(1) 第30回水環境懇話会

- 1) 開催日 平成24年6月19日(火)
- 2) 場 所 学会事務局会議室(東京都江東区)
- 3) テーマ 会社を作ってみたー2年間会社を運営してみて感じた「民間会社とはそもそも何か」。そこから官民連携や、役所が作る会社や、水ビジネスの将来を考えるー
- 4) 参加者 15名

(2) 第31回水環境懇話会

- 1) 開催日 平成24年10月11日(木)
- 2) 場 所 学会事務局会議室(東京都江東区)
- 3) テーマ 膜分離技術の課題と未来
- 4) 参加者 34名

(3) 第32回水環境懇話会

- 1) 開催日 平成25年2月27日(水)
- 2) 場 所 学会事務局会議室(東京都江東区)
- 3) テーマ ・持続可能な水環境を実現するクラウド型プラットフォームの活用
・コンシューマ向け防災気象情報提供の取り組み
- 4) 参加者 19名

5. その他

- (1) 関連学協会の講演会等を協賛した。
- (2) IWA団体会員の会費支払手続きを代行した。
- (3) 日本学術会議の下に設置された大震災の総合対応に関する学協会の連絡会に参画した。
- (4) 「震災対応タスクチーム」を設け、2つの分科会が衛生管理に関係するテーマ(担当:水中の健康関連微生物研究委員会)と湿地・沿岸域に関係するテーマ(担当:湿地・沿岸域研究委員会)について災害調査活動を実施した結果を報告した。